

静岡市美術館「没後150年 歌川国芳展」 展示替予定表

前期展示:7月9日(土)~7月31日(日)

- ・都合により展示期間が変更する場合があります。ご了承ください。
- ・リストの番号はカタログ番号です。作品の展示順とは一致しません。

武者絵—みなぎる力と躍動感

2	西村屋版武者絵シリーズ「隠岐次郎広有」	にしむらやばんむしゃえしりーず おきのじろうひろあり
4	平知盛亡霊の図	たいらのとももりぼうれいのず
6	「絵本合邦辻」	えほんがっぽうがつじ
7	「忠臣蔵十一段目両国橋勢揃図」	ちゅうしんぐらじゅういちだんめ りょうこくばせいぞろいず
10	「宇治川合戦之図」	うじがわかつせんのみず
13	川口版武者絵シリーズ「天竺徳兵衛」	かわぐちばんむしゃえしりーず てんじくとくべえ
14	川口版武者絵シリーズ「瀧口内舎人渡辺綱」	かわぐちばんむしゃえしりーず たきぐちのうちとねりわたなべのつな
16	鳶屋版武者絵シリーズ「魔津伊多見治郎」	つたやばんむしゃえしりーず まついたみじろう
18	「通俗水滸伝豪傑百八人之一個 屠三娘一文青」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり こさんりょういちじょうせい
21	「通俗水滸伝豪傑百八人之壹人 短冥次郎阮小吾」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり たんめいじろうげんしょうご
22	「通俗水滸伝豪傑百八人之一個 旱地忽律朱貴」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり かんちこつりつしゆき
23	「通俗水滸伝豪傑百八人之壹人 入雲龍公孫勝」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり じゅうんりょうこうそんしょう
24	「通俗水滸伝豪傑百八人之一個 浪子燕青」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり ろうしえんせい
28	「本朝水滸伝豪傑八百人一個 天眼礮兵衛」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり てんがんいそびょうえ
29	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり みやもとむさし
31	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 鷺池平九郎」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり さぎのいけへいくろう
34	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬田小文吾悌順」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり いぬたこぶんごやすり
35	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬山道節忠興」	ほんちようすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり いぬやまどうせつただとも
38	加賀屋版武者絵シリーズ「那伽犀那尊者」	かがやばんむしゃえしりーず なかさいなそんじや
39	加賀屋版武者絵シリーズ「蛾=(虫+魔)仙人」	かがやばんむしゃえしりーず がませんにん
41	「金太郎鬼ヶ嶋遊」	きんたろうおにがしまあそび
42	鳶屋版武者絵シリーズ「毛谷村六助」	つたやばんむしゃえしりーず けやむらのろくすけ
43	山本版武者絵シリーズ「鬼若丸」	やまもとばんむしゃえしりーず おにわかまる
47	「船弁慶」	ふなべんけい
50	「八犬伝之内芳流閣」	はっけんでのうちほうりゅうかく
51	源三位頼政鶴退治	げんざんみよりまさぬえたいじ
52	「源頼家公鎌倉小壺海遊覧 朝義秀雌雄鰐を捕ふ図」	みなもとのよりいえこうまくらこつぼのうみゆうらん あさひなよしひでしゆうのわにをとらうず
56	「盛衰記人品箋 法勝寺執行俊寛」	せいすいきじんびんせん ほっしょうじしゆぎょうしゆんかん
57	「盛衰記人品箋 安芸守平清盛」	せいすいきじんびんせん あきのかみたいらのきよもり
58	「通俗水滸伝豪傑百八人之内 短命二郎阮小五」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのうち たんめいじろうげんしょうご
59	「通俗水滸伝豪傑百八人之内 「活閻羅阮小七」	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのうち かつえんらげんしょうしち
62	「国芳もやう正札附現金男 野晒悟助」	くによしもやうしょうふだつきげんきんおとこ のざらしごすけ
63	「国芳もやう正札附現金男 唐犬権兵衛」	くによしもやうしょうふだつきげんきんおとこ どうけんこんべえ
67	鬼若丸の鯉退治	おにわかまるのこいたいじ
71	「美盾八競 神崎秋月」樋口次郎兼光	みたてはっけい かんざきしゅうげつ ひぐちのじろうかねみつ
76	「誠忠義士肖像 潮田政之丞高教」	せいちゅうぎししょうぞう うしおだまさのじょうたかのり
77	「誠忠義士肖像 大星由良之助良雄」	せいちゅうぎししょうぞう おおほしゆらのすけよしお
78	「誠忠義士肖像 杉野十平治次房」	せいちゅうぎししょうぞう すぎのじゅうへいじつぎふさ
79	「江州坂本入江の浪士白狐にたぶらかさるゝ図」	ごうしゅうさかもといりえのろうしびやっこにたぶらかさるるず
80	「義経功臣 四天王出世鑑之内 亀井六郎」	よしつねこうしん してんのうしゆつせかがみのうち かめいろくろう
81	「稲葉山中におみて荒猪を生捕たる強勇を大将の目にとまり臣下とす」	いなばさんちゅうにおいてあらじしをいけどりたるごうゆうをたいしょうのめにとまりしんかどす
83	大物浦平家の亡霊	だいもつうらへいけのぼうれい
84	「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」	さぬきのいんけんぞくをしてためとをすくうず
85	大江山酒呑童子	おおえやましゆてんどうじ
87	「通俗三国志之内 玄德馬躍檀溪跳図」	つうぞくさんごくしのうち げんとくまをおどらせてだんけいをこえるず
90	文覚上人那智の瀧荒行	もんがくしょうにんなちのたきあらぎょう
92	「赤沢山大相撲」	あかざわやまおおすもう
94	四条繩手の戦い	しじょうなわてのたたかい
96	「真勇競 平知盛」	しんゆうくらべ たいらのとももり
98	「列猛伝 箱玉丸」	れつもうでん はこおうまる
100	張交絵 ふぐ・上利剣・芳流閣 (広重・三代豊国・国芳合筆)	はりまぜえ ふぐ・しりょうけん・ほうりゅうかく(ひろしげ・さんだいとよくに・くによしがつびつ)
101	「本朝武者鏡 橋姫」	ほんちようむしやかがみ はしひめ
102	「和漢準源氏 花の宴 釈那王」	わかなんざらえげんじ はなのえん しゃなおう
104	「和漢準源氏 玉かつら 武内宿禰得干珠満珠」	わかなんざらえげんじ たまかつら たけのうちのすくねかんじゆまんじゆをえる

説話－物語とイメージ

109	「忠孝名譽奇人伝 兼女」	ちゅうこうめいよきじんてん かねじょ
110	「忠孝名譽奇人伝 左甚五郎」	ちゅうこうめいよきじんてん ひだりじんごろう
112	「韓信勝潜之図」	かんしんまたくぐりのず
114	「龍宮城 原藤太秀郷に三種の土産を贈」	りゅうぐうじょう たわらとうだひでさとにさんしゆのとさんをおくる
115	「二十四孝童子鑑 呉猛」	にじゅうしこうどうじかがみ ごもう
116	「二十四孝童子鑑 大舜」	にじゅうしこうどうじかがみ たいしゆん
123	「鍾馗散 邪鬼に即功」	しゅうきさん じゃきにそっこう
124	「木曾街道六十九次之内 六十八 守山 達磨大師」	きそかいどうろくじゅうきゅうつぎのうち ろくじゅうはち もりやま だるまだいし
125	「木曾街道六十九次之内 三十 下諏訪 八重垣姫」	きそかいどうろくじゅうきゅうつぎのうち さんじゅう ものすわ やえがきひめ

役者絵－人気役者のさまざまな姿

127	岩井紫若の三平女房十六夜のりん・七代目市川團十郎の比企の判官頼員・坂東三津右衛門の飾間宅兵衛	いわいしじやくのさんべいにようぼういざよいのりん・しちだいまいちかわだん じゅうろうのひきのはんがんよりかず・ばんどうみつえものしかまたくべい
130	「調布玉川景」	ちようふたまがわのけい
132	見立 二代目関三十郎ののざらし語助・五代目瀬川菊之丞のけいせい地ごく太夫・二代目中村芝翫の休太郎	みだて にだいませきさんじゅうろうののざらしごすけ・ごだいませがわきくのじょうのけいせいじごくたゆう・にだいなかむらしかんのいっきゅうたろう
135	四代目坂東三津五郎の唐冠者・三代目尾上菊五郎の白面久五郎・二代目関三十郎の天竺直右衛門	よだいまばんどうみつごろうのとうのかんじや・さんだいまおのえきくごろうのはくめんのきゆうごろう・にだいませきさんじゅうろうのてんじくなおえもん
136	片岡市蔵の金藤太・三代目尾上菊五郎の九尾太郎・四代目坂東三津五郎のかずさの助	かたおかいちざうのきんとうた・さんだいまおのえきくごろうのきゅうびのたろう・よだいまばんどうみつごろうのかずさのすけ
137	十二代目市村羽左衛門の塩沢丹三郎・三代目尾上菊五郎の羽生村の助・三代目尾上栄三郎のげいしやおきく・沢村訥升の与右衛門	じゅうにだいまいちむらうざえものしおざわたんざぶろう・さんだいまおのえきくごろうのはにゆうむらのすけ・さんだいまおのえいざぶろうのげいしやおきく・さわむらとつじょうのよえもん
143	十二代目市村羽左衛門の名古屋小山三・四代目中村歌右衛門の物艸村の百姓太郎作	じゅうにだいまいちむらうざえものなごよこさんざ・よだいなかむらうたえものものぐさむらのひやくしやうたろさく
144	三代目尾上栄三郎のしづか御ぜん・下り二代目尾上多見蔵の百姓きよる作と源九郎狐	さんだいまおのえいざぶろうのしづかごぜん・くだりにだいまおのえたみざうのひやくしやうきよるさくとげんくろうぎつね
145	坂東しうかの唐土姫・三代目尾上菊五郎の天竺冠者・五代目沢村宗十郎の斯波右衛門	ばんどうしゅうかのもろこしひめ・さんだいまおのえきくごろうのてんじくかじや・ごだいまさわむらそうじゅうろうのしばえもん
146	四代目坂東彦三郎の左大臣道平の霊・八代目市川團十郎の仁木弁之助	よだいまばんどうひこさぶろうのさだいじんみちひらのれい・はちだいまいちかわだんじゅうろうのにつきべんのすけ
147	四代目坂東彦三郎の神田川の与吉	よだいまばんどうひこさぶろうのかんだがわのよきち
150	八代目市川團十郎の鳴神上人	はちだいまいちかわだんじゅうろうのなるかみしやうにん
151	五代目市川海老蔵のゑんまの小兵衛・八代目市川團十郎のうきよ伊之助・三代目岩井紫若の若那屋若草	ごだいまいちかわえびざうのえんまのこへえ・はちだいまいちかわだんじゅうろうのうきよいのすけ・さんだいまいわいくめさぶろうのわかなやわかくさ
154	三代目関三十郎の義平次ばア・坂東しうかの団七おかぢ	さんだいませきさんじゅうろうのぎへいじばあ・ばんどうしゅうかのだんしちおかぢ
155	歌俳菜名所絵合	うたのしおりめいしよえあわせ
156	五代目市川海老蔵	ごだいまいちかわえびざう

美人画－江戸の粋と団扇絵の美

159	「当流女諸礼躰方 物の見よう」	とうりゅうおんなしよれいしつけかた もののみよう
160	「当流女諸礼躰方 小袖かへ様」	とうりゅうおんなしよれいしつけかた こそできがえよう
162	「本朝景色美人図会 伊勢二見浦景」	ほんちやうけしきびじんずえ いせふたみがうらのけい
163	「本朝景色美人図会 防州岩国錦帯橋之景」	ほんちやうけしきびじんずえ ぼうしゅういわくにきんたいばしのけい
165	「流好御染物帳 柳葉御納戸」	りゅうこうおそめものちやう やなぎばおなんど
166	「流好御染物帳 江戸紫」	りゅうこうおそめものちやう えどむらさき
171	「当世三婦苦対」遊女	とうせいさんぶくつい ゆうじょ
174	「春の虹＝(虫+兒)」	はるのにじ
176	美人子ども十二ヶ月シリーズ「皇月川開 両国ばし」	びじんこどもじゅうにかげつしりーず さつきかわびらき りやうごくばし
177	美人子ども十二ヶ月シリーズ「文月の七夕」	びじんこどもじゅうにかげつしりーず ふみづきのたなばた
180	美人子ども十二ヶ月シリーズ「無神月 辰巳 八幡」	びじんこどもじゅうにかげつしりーず かなづき たつみ はちまん
181	船橋屋前	ふなばしやまえ
183	「夏けしき屋夜どけい ひるセツ時」	なつけしきゆうやどけい ひるななつき
185	「新良万造」爪切り	しんらまんざう つめきり
188	布晒し	ぬのさらし
189	女三宮	にょさんのみや
192	「四季心女遊 秋」	しきのこころおんなあそび あき
193	「四季心女遊 冬」	しきのこころおんなあそび ふゆ
195	「江戸じまん名物くらべ 深川のむきみ」	えどじまんめいぶつくらべ ふかがわのむきみ
198	「絵兄弟やさすがた」鶴退治	えきやうだいやさすがた ぬえたいじ
199	「絵兄弟やさすがた」股野岩投げ	えきやうだいやさすがた またのいわなげ
201	「四季遊観 納涼のほたる」	しきゆうかん のりやうのほたる
202	「駒形の朝霧」	こまがたのあさぎり
205	鏡面シリーズ 櫛持つ美人	きやうめんしりーず くしもつびじん
206	鏡面シリーズ 元結	きやうめんしりーず もとゆい

209	「美人揃陸三曲」小むらさき	びじんぞろいむつまじさんきよく こむらさき
210	「東都七福弁天 深川すさき弁天」	とうとしちふくべんてん ふかがわすさきべんてん
212	「逢性鏡 吉三郎」	あいしょうかがみ きちさぶろう
214	「江戸自慢程好仕入 しゃうぶかは」	えどじまんとうせいじいれ しょうぶがわ
215	「人間万事愛婦美八卦意 駄 花鳥茶屋の夕照」	にんげんばんじおうみはっけい だ かちょうじゃやのせきしょう
219	「三ツの猿夜の賑ひ」	みつこのさるよるのにぎわい
223	「今様六夏撰 蚊屋」	いまようろつかっせん かや
224	「今様六夏撰 土用見舞」	いまようろつかっせん とうようみまい
225	「六景色 浅草寺の雪」	ろくげしき せんそうじのゆき
226	「山海愛度図会 七 ヲいたたい 越中滑川大蛸」	さんかいめでたいずえ しち おおいたたい えっちゆうなめりかわおおだこ
227	「山海愛度図会 六十七 けむったい 丹波 赤かいる」	さんかいめでたいずえ ろくじゅうしち けむったい たんば あかかいる

子ども絵－遊びと学び

229	子ども火消し 八番組ほ組か組わ組た組	こどもひけし はちばんぐみほぐみかぐみわぐみたぐみ
236	「おさな遊びのうち 農」	おさなあそびのうち のう
237	「をさな遊びのうち 工」	おさなあそびのうち こう
238	「稚遊びのうち 商」	おさなあそびのうち しょう
239	「子供遊八行のうち 仁」	こどもあそびはっこうのうち じん
240	「稚遊八行のうち 孝」	こどもあそびはっこうのうち こう
241	「子供諸礼躰方 掛物かけやう・立花生花見やう」	こどもしよれいしつけかた かけものかけやう・りっかいけはなみよう
244	「稚遊五節句之内 端午」	おさなあそびごせつくのうち たんご
245	「稚遊五節句之内 七夕」	おさなあそびごせつくのうち たなばた
248	「新板子供遊びの内 春のあそび」	しんばんこどもあそびのうち はるのあそび
249	「子供あそびのうち 角のり」	こどもあそびのうち かくのり
250	「子宝遊」	こだからあそび
252	子供大名行列	こどもだいみょうぎょうれつ

風景画－近代的なアングル

256	「山海名産尽 信濃蕎麦」	さんかいめいさんづくし しなのそば
257	「山海名産尽 紀州鯨」	さんかいめいさんづくし きしゅうくじら
258	「東都橋場之図」	とうとはしほのず
261	「東都三ツ股の図」	とうとみつまたのず
262	「東都首尾の松之図」	とうとしゆびのまつのず
264	「忠臣蔵十一段目夜討之図」	ちゆうしんぐらじゆういちだんめようちのず
265	「東都名所 てつぼふづ」	とうとめいしょ てつぼうず
267	「東都名所 かすみが関」	とうとめいしょ かすみがせき
270	「東都名所 両国の涼」	とうとめいしょ りょうごくのすずみ
271	「本朝名橋之内 江都日本橋略図」	ほんちようめいきょうのうち えどにほんばしりやくず
273	「相州大山道田村渡の景」	そうしゅうおおやまどうたむらのわたしのけい
276	「東海道五拾三次人物志 川崎」	とうかいどうごじゅうさんつぎじんぶつし かわさき
277	「東海道五拾三次人物志 平塚」	とうかいどうごじゅうさんつぎじんぶつし ひらつか
279	「相州江之嶋之図」	そうしゅうえのしまのず

摺物と動物画－精緻な彫と摺

283	「風俗女水滸伝 壹百八人之内 朱武」	ふうぞくおんなすいこでん いっぴやくはちにんのうち しゆぶ
284	「風俗女水滸伝 壹百八人ノ内 汐汲五番続其三 = (ごんべん+元)小二」	ふうぞくおんなすいこでん いっぴやくはちにんのうち しおくみごばんつづきそのさん げんしょうじ
287	床の間の琴	とこのまのこと
288	撫で牛	なでうし
291	舟に乗る三代目尾上菊五郎	ふねにのるさんだいいめおのえきごろう
292	八代目市川團十郎の暫	はちだいいめいちかわだんじゅうろうのしばらく
293	大筒を抱える四代目中村歌右衛門	おおづつをかかえるよだいいめなかむらうたえもん
296	瓢箪に画帖 (国芳・是真合筆)	ひょうたんにかがじょう(くによし・ぜしんがっぴつ)
297	「東西大関俳優」(国芳・三代豊国合筆)	とうざいおおぜきはいゆう(くによし・さんだいとくよにかがっぴつ)
299	双龍	そうりゅう
302	「禽獣図会 鳳凰・麒麟」	きんじゅうずえ ほうおう・きりん
303	「禽獣図会 鳳凰・麒麟」校合摺	きんじゅうずえ ほうおう・きりん きょうごうずり
306	竹に虎	たけにとら
307	「鼠よけの猫」	ねずみよけのねこ

戯画－溢れるウィットとユーモア

308	「化物忠臣蔵」	ばけものちゆうしんぐら
311	「欠留人物更紗 十四人のからだにて三十五人にミゆる」	あくびどめじんぶつさらさ じゅうよにんのからだにてさんじゅうごにんにみゆる
314	「道外狐へん化のけいこ」	どうけきつねへんげのけいこ
317	猫の源氏 賢木	ねこのげんじ さかき

319	「道外化粧のたわむれ 花火」	どうけけしょうのたわむれ はなび
320	「道外化粧のたわむれ 大森」	どうけけしょうのたわむれ おおもり
321	「絵鏡台合かゞ身」 牛若丸・弁慶／おにがはら・かふもり	えきょうだいあわせかがみ うしわかまる・べんけい／おにがわら・こうもり
325	「猫の当字」 たこ	ねこのあてじ たこ
327	「猫の百面相」 忠臣蔵	ねこのひやくめんそう ちゆうしんぐら
329	「魚の心」	うおのこころ
331	「雀の百狂 鳥さし」	すずめのひやつきょう とりさし
336	「福祿寿あたまのたわむれ」 雨宿り・あくび	ふくろくじゆあたまのたわむれ あまやどり・あくび
337	「福祿寿あたまのたわむれ」 大掃除・相撲取	ふくろくじゆあたまのたわむれ おおそうじ・すもうとり
339	「きん魚づくし ぼんぼん」	きんぎょづくし ぼんぼん
340	「十二支見立職人づくし」	じゆうにしみたてしよくにんづくし
341	「かゑるづくし」	かえるづくし
344	「駒くらべ盤上太平基」	こまくらべばんじょうたいへいき
347	「藤次流行思ひの竹沢 石うすまハシ」	とうじりゆうこうおもいのたけざわ いしうすまわし
348	「藤次流行思ひの竹沢 大黒のつちまハシ」	とうじりゆうこうおもいのたけざわ だいこくのつちまわし
350	「流行道外こまづくし はなれこま・しんぼうハおかね／ぶんふくちやごま」	りゆうこうどうけこまづくし はなれこま・しんぼうはおかね／ぶんふくちやごま
351	「蝦蟇手本ひやうきんぐら」 大序・二段目	がまてほんひやうきんぐら だいにょ・にだんめ
352	「蝦蟇手本ひやうきんぐら」 三段目・四段目	がまてほんひやうきんぐら さんだんめ・よだんめ
353	「おぼろ月猫の盛」	おぼろつきねこのさかり
356	「朝比奈小人嶋遊」	あさひなこびとじまあそび
357	「浮世よしづ久志」	うきよしづくし
358	「としよりのよふな若い人だ」	としよりのよふなわかいひとだ
359	「人かたまつて人になる」	ひとかたまつてひとになる
361	「其まゝ地口猫飼好五十三疋」	そのままじぐちみょうかいごうごじゆうさんびき
364	「其面影程能写絵 獵人にたぬき／金魚にひごいッ子」	そのおもかげほどよくうつしえ りょうじんにたぬき／きんぎょにひごいっこ
365	「其面影程能写絵 弁けい／たいこもち」	そのおもかげほどよくうつしえ べんけい／たいこもち
366	「浅草奥山道外けんざげ」	あさくさおくやまどうけけんざげ
367	「流行三ツびやうし」	りゆうこうみつびやうし
371	「荷宝蔵壁のむだ書」 黒腰壁	にたからぐらかべのむだがき こくようへき
372	「流行逢都絵希代稀物」	ときにおおつえきだいのまれもの

風俗・娯楽・情報

374	「極ざいしきうつしゑ 都楽」	ごくざいしきうつしえ とらく
375	「林屋正蔵工夫の怪談 百物語化物屋敷の図」	はやしやしきょうふうのかいだん ひやくものがたりばけものやしきのず
377	「桜三筋末広の松」	さくらみすじすえひろのまつ
378	「竹沢藤次曲独楽 九尾の狐三国渡」	たけざわとうじきょくごま きゆうびのきつねみくにのわたし
379	「竹沢藤次曲独楽 お岩稲荷」	たけざわとうじきょくごま おいわいなり
380	「竹沢藤次曲独楽 衣紋流し・邯鄲の夢枕ほか」	たけざわとうじきょくごま えもんながし・かんたんのゆめまくらほか
384	「盆を拭くお竹」	ぼんをふくおたけ
387	「お竹・翁稲荷・奪衣婆の宴会」	おたけ・おきないなり・だつえばのえんかい
388	「為朝と瘡瘡神」	ためともとほうそうしん
391	「鬼若力之助」	おにわかりきのすけ
393	「七浦大漁繁昌之図」	ななうらたいりょうはんじやうのず
397	「石橋 早竹虎吉」	しやつきょう はやたけとらきち
398	「富士旗竿 早竹虎吉」	ふじのはたざお はやたけとらきち
400	「当盛見立人形之内 一ツ家之図」	とうせいみたてにんぎやうのうち ひとつやのず
402	「新板東海道五拾三次名所入見立道中双六」	しんばんとうかいどうごじゆうさんつぎめいしよいりみたてどうちゆうすごろく
404	「破家利口振分双六」	ばかりこうふりわけすごろく
406	「歌川芳富画 国芳死絵」	うたがわよしとみが くによししにえ

肉筆画・板木・版本ほか

408	「遊女図」	ゆうじよず
410	「遊女図」	ゆうじよず
413	「立美人図」	たちびじんず
414	「浴衣を抱える美人」	ゆかたをかかえるびじん
415	「誠忠義士伝 三十六 矢多五郎右衛門祐武」板木	せいちゆうぎしでん さんじゆうろく やたごろうえもんすけたけ はんぎ
416	「誠忠義士伝 三十六 矢多五郎右衛門祐武」	せいちゆうぎしでん さんじゆうろく やたごろうえもんすけたけ
417A	「宇治川合戦 佐々木四郎高綱 板木(表)」	うじがわかつせん ささきしろうたかつな はんぎ おもて
417B	「宇治川合戦 佐々木四郎高綱 板木(裏)」	うじがわかつせん ささきしろうたかつな はんぎ うら
418A	「みかけハこゝろあひがとんだいゝ人だ」板木	みかけはこわいがとんだいいひとだ はんぎ
418B	「みかけハこゝろあひがとんだいゝ人だ」新摺品	みかけはこわいがとんだいいひとだ しんずりひん
419	「神史水滸伝」	えほんすいこでん
420	「七ツ組入子枕」	ななつぐみいれこまくら
421	「書簡」	しよかん